

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 24 年 4 月 26 日 (2012.4.26)

【公表番号】特表 2010-531959 (P2010-531959A)  
 【公表日】平成 22 年 9 月 30 日 (2010.9.30)  
 【年通号数】公開・登録公報 2010-039  
 【出願番号】特願 2010-506489 (P2010-506489)  
 【国際特許分類】

**F 1 6 K 1/226 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 K 1/226 J

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 8 日 (2012.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バタフライバルブにおいて使用するためのシールであって、  
 前記バタフライバルブの内部に取り付けられ、前記バタフライバルブの流量制御穴を囲むように構成されている実質的に可撓なリング状のキャリアと、  
 前記リング状のキャリアの内径と接続されるリング状のカートリッジとを備えており、

前記リング状のカートリッジが、第 1 の部位と、シールリングを保持するための周状の開口を定めるように、締めりばめ、第 1 の溶接および化学的な固定方法のうちの少なくとも 1 つを用いて前記第 1 の部位と接続される第 2 の部位とを有しているシール。

【請求項 2】

前記リング状のキャリアが第 1 の材料からなり、前記リング状のカートリッジが第 2 の材料からなり、前記第 1 の材料が前記第 2 の材料とは異なっている請求項 1 に記載のシール。

【請求項 3】

前記第 1 の部位が、第 1 の内向き表面を有しており、前記第 2 の部位が、前記第 1 の内向き表面と係合する第 2 の内向き表面を有している請求項 2 に記載のシール。

【請求項 4】

前記周状の開口に保持されるシールリングをさらに備えている請求項 3 に記載のシール。

【請求項 5】

前記シールリングが第 3 の材料からなっており、該第 3 の材料が前記第 1 の材料および前記第 2 の材料とは異なっている請求項 4 に記載のシール。

【請求項 6】

前記シールリングと前記リング状のカートリッジの前記第 1 の部位との間に配設される第 4 の材料からなる層をさらに備えており、前記第 4 の材料が前記シールリングを前記リング状のカートリッジへ固定する請求項 5 に記載のシール。

【請求項 7】

前記リング状のカートリッジが第 2 の溶接により前記リング状のキャリアと接続されている請求項 6 に記載のシール。

**【請求項 8】**

前記第 1 の材料が第 1 の金属であり、前記第 2 の材料が第 2 の金属である請求項 2 に記載のシール。

**【請求項 9】**

前記第 1 の内向き表面および前記第 2 の内向き表面の少なくとも一部分が、前記第 1 の溶接によって融合させられ、前記開口を定めているアキシャル壁に実質的に隣接している請求項 8 に記載のシール。

**【請求項 10】**

前記第 1 の部位が、少なくとも第 1 のラジアル表面を有しており、前記第 2 の部位が、前記第 1 のラジアル表面と係合するための少なくとも第 2 のラジアル表面を有している請求項 1 に記載のシール。

**【請求項 11】**

前記第 1 および第 2 のラジアル表面が、溶接部によって接合される請求項 10 に記載のシール。

**【請求項 12】**

前記溶接部が、ラジアル溶接部である請求項 11 に記載のシール。

**【請求項 13】**

前記第 1 の部位が、第 1 のアキシャル表面を有しており、前記第 2 の部位が、前記第 1 のアキシャル表面と係合するための第 2 のアキシャル表面を有している請求項 10 に記載のシール。

**【請求項 14】**

前記アキシャル表面が、前記ラジアル表面よりも小さい係合表面積を有している請求項 13 に記載のシール。

**【請求項 15】**

バタフライバルブにおいて使用するためのシールであって、

第 1 のリング状の部位と、開口を定めるように、締まりばめ、溶接および化学的な固定方法のうちの少なくとも 1 つを用いて前記第 1 のリング状の部位と接続される第 2 のリング状の部位とを有しているカートリッジと、

前記開口に保持されたる実質的に剛なリング状のシールとを備えているシール。

**【請求項 16】**

前記第 1 のリング状の部位が、ラジアル溝を含んでおり、前記第 2 のリング状の部位が、前記ラジアル溝に係合するための軸突起を含んでいる請求項 15 に記載のシール。

**【請求項 17】**

前記軸突起が、前記ラジアル溝の表面へと溶接される請求項 16 に記載のシール。

**【請求項 18】**

前記ラジアル溝の内径の壁が、前記開口の外径に実質的に整列する請求項 16 に記載のシール。

**【請求項 19】**

前記開口は、前記第 1 のリング状の部位によって定められる第 1 のラジアル表面およびアキシャル表面と、前記第 2 のリング状の部位によって定められる第 2 のラジアル表面とを含んでいる請求項 15 に記載のシール。

**【請求項 20】**

前記第 1 および第 2 のラジアル表面が、実質的に非平行である請求項 19 に記載のシール。